

保護めがね取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。

警告

- この保護めがねは溶接・溶断作業、眩しい光のもとでの作業、レーザー光による作業など遮光用には使用しないでください。
- X線、その他の放射線、有害光線やレーザー光線に対して目を保護する性能を持っておりません。視力の低下や喪失を招く危険がありますので用途に適した保護めがねを使用してください。
- スポーツ、レジャー、娯楽(射撃)などの目的では使用しないでください。
- この保護めがねはJIS規格T8147「保護めがね」に該当いたしません。

【使用上の注意】

1. 用途

この保護めがねは飛来物、浮遊粉じんなどから使用者の眼を保護するために使用するものです。

2. 点検

使用前には必ず下記の点検を行ってください。

- レンズに傷、変質、変形はないか。
- フレーム・テンブルに傷、ひび割れ、変質、変形はないか。

3. 交換時期

下記の状態が確認されたら交換してください。

- レンズに多数の傷や、落ちない汚れが付着し見難くなった時。
- フレーム・テンブルに傷、ひび割れ、変質、変形が発生した時。

【曇り止め加工レンズのお手入れに関する注意点】

- 市販のレンズクリーナーや曇り止め、洗剤・溶剤などの薬品は使用しないでください。
※防曇効果の低下および、変質・変形の原因になります。
- 流水でメガネの表面についている汚れを洗い流します。
※汚れが付いた状態でレンズを拭くと、傷の原因になります。
※洗い流す際、変質・変形の原因となりますのでお湯は使用しないでください。
- フレームを軽く振って水滴を取り除いてください。
※テンブルを折りたたみ、開かないよう固定して行ってください。
テンブルを広げた状態で行うと故障・破損の原因となることがあります。
- レンズの性質上、傷につきやすいため、水洗い後はレンズクロス(メガネ拭き)などの柔らかい布を押し当てるようにして水分吸着し、自然乾燥させてください。レンズが濡れた状態のまま擦るように拭くと、傷の原因となるのでおやめください。
- ティッシュや洋服の端など、繊維の目が粗いものでレンズを拭くことは、傷の原因となるのでおやめください。

【保守・保管方法】

- レンズを下にして置かないでください。
- 高温、多湿、直射日光のあたる場所には置かないでください。

《 注意 》

- 高温・煮沸・薬品・電磁波などによる消毒・洗浄は、劣化を招くことがあるのでおやめください。